

【昨日の市況概要】				公示仲値	156.96
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	156.83	1.0862	170.45	1.2772	0.6656
SYD-NY High	157.20	1.0889	170.77	1.2801	0.6679
SYD-NY Low	156.58	1.0855	170.31	1.2755	0.6643
NY 5:00 PM	157.20	1.0857	170.66	1.2762	0.6649
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	38,852.86	▲ 216.73	日本2年債	0.3500%	0.0100%
NASDAQ	17,019.88	99.09	日本10年債	1.0300%	0.0100%
S&P	5,306.04	1.32	米国2年債	4.9775%	0.0313%
日経平均	38,855.37	▲ 44.65	米国5年債	4.5911%	0.0643%
TOPIX	2,768.50	2.14	米国10年債	4.5470%	0.0811%
シゴ日経先物	38,970.00	165.00	独10年債	2.5880%	0.0420%
ロンドンFT	8,254.18	▲ 63.41	英10年債	4.2800%	0.0200%
DAX	18,677.87	▲ 96.84	豪10年債	4.2730%	▲0.0080%
ハンセン指数	18,821.16	▲ 6.19	USDJPY 1M Vol	8.35%	▲0.14%
上海総合	3,109.57	▲ 14.47	USDJPY 3M Vol	8.57%	▲0.07%
NY金	2,356.50	22.00	USDJPY 6M Vol	9.05%	▲0.01%
WTI	79.83	2.11	USDJPY 1M 25RR	▲1.15%	Yen Call Over
CRB指数	300.23	5.96	EURJPY 3M Vol	8.03%	▲0.07%
ドルインデックス	104.61	0.02	EURJPY 6M Vol	8.55%	▲0.05%

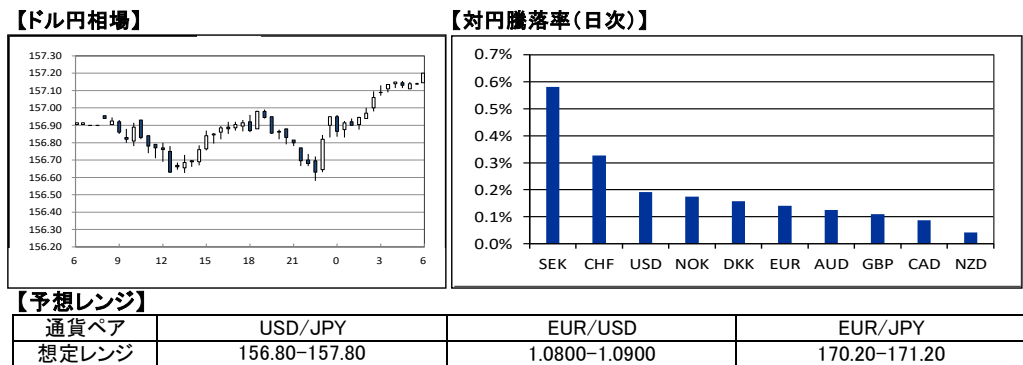
東京	東京時間ドル円は156.83レベルでオープン。NY休日明けに朝方から出来高を伴いながらドル売り基調となり昼過ぎに156.63を付ける。しかしその後はドル円に買い戻しが入り、結局156.85レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、156.85レベルでオープン。英・米祝日明けの本日欧州時間は全般に小動き。ドル円は一時156.99まで上昇するも157円は付かず。結局156.77レベルでNYに渡った。ポンド円も小動きだったが、終始200円台での推移となった。
ニューヨーク	海外市場のドル円は156円台後半でスタート。月末ローに絡んだドル売りが先行し、156.63まで下落。その後、157円台手前まで戻す場面もあったが、その後再び下落し、156.77レベルでNYオープン。朝方は米金利が低下する展開が重しとなり、156.58まで続落。しかし、その後はカンサリ・ミネアポリス連銀総裁の「利上げを選択肢から完全に排除した人は誰もいないと思う」との発言を受け下げ渋り、続いて発表された米5月コンファレンスボード消費者信頼感指数が予想を上回った事や、米2年債の入札結果が低調だった内容がドル買い材料となり、156.90付近まで戻す。午後に発表された米5年債の入札結果も低調な結果となり、米金利が一段と上昇する動きに追従し、終盤にかけては157.20レベルまで上値を伸ばしシロース。一方、海外市場のユーロドルは1.08台半ばでスタート。ドル売りが優勢の中、じり高で推移し、1.0884レベルでNYオープン。午前中は1.0870近辺を挟んだ方向感乏しい推移が続く。午後は低調な米2年債と5年債の入札結果を受け、米金利が高水準で推移する展開が重しとなり、1.0855まで下落し、その後1.0857レベルでクローズ。

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
5月28日	10:30	豪 小売売上高(前月比)	4月 0.1%	0.2%
	13:55	米 メスター・クリーブランド連銀総裁 講演	声明文の内容や経済予測の内容を拡充すべき	
	13:55	米 ボウマンFRB理事 講演	バランスシート縮小減速、先送りを支持	
	22:55	米 カシュカリ・ミネアポリス連銀総裁 講演	利上げの可能性を完全には排除せず	
	23:00	米 コンファレンスボード消費者信頼感	5月 102	96

【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
5月29日	21:00	独 CPI(前年比/前月比)・速報	5月 2.4%/0.2%	2.2%/0.5%
5月30日	03:00	米 ペーヂブック	-	-



【マーケット・インプレッション】

昨日海外市場は、米国債入札の不調から米金利が上昇。これを背景にドル高となり、ドル円相場は157円台に上昇する展開となった。市場の注目材料は引き続き日米金利差だが、依然市場は日米金利差縮小の時間軸を見定められておらず、月末の米インフレ指標に注目は集まる。それまでは月末需給により、ドル円相場には円安圧力がかかる。本日はここ数日頭打ちとなっていた157.20円近辺を超えて円安が進む展開を予想する。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。